

介護老人保健施設ゆうむ

広報誌きらくだより

平成30年12月19日、各フロアーごとに「クリスマス会」を行ないました。昼食もクリスマスらしい色とりどりのメニューで、おいしくクリスマスを楽しみました。通所フロアーではボランティア様によるオカリナの演奏で、クリスマス気分がさらに盛り上がりました。

平成31年3月発行 第64号



クリスマス会昼食メニュー

- ・サフランライス おやつ
- ・特製ミートローフ
- ・コンソメスープ
- ・クリスマスサラダ
- ・クリスマスケーキ
- ・アップルタイザー
- 紅茶

今年の干支は？

猪の貼り絵です。昨年末、新年に向けて皆さんで作成して頂きました。



2月1日、各フロアーにて豆まきをおこないました。



次回のイベントのお知らせ

4月6日(土)にお花見会を予定しています。今年の桜は早そうですね？ご家族お揃いで是非ご参加下さい。



通所リハビリテーションの様子

ゆうむの通所リハビリテーションは、毎週月曜日から金曜日に行っており、要支援の方には、午後からのプログラムで「転倒予防」「認知症予防」に特化した短時間プログラムを提供しています。



脳トレーニング



運動器機能向上訓練



足指を動かします





「東京都介護老人保健施設大会」に参加しました
平成30年11月29日（木）、八王子大会、全国大会に続き東京都大会がアルカディア市ヶ谷にて行われました。

ゆうむからは、山岸孝幸作業療法士が演題発表を行い他職員も数名参加し、他施設の様々な取り組みの発表、またはパネルディスカッションなどに耳を傾け有意義な一日となりました。

演題名 悪性疾患を伴う利用者の在宅支援について
～ありのままを受け入れて～ 作業療法士 山岸孝幸



冬に怖い感染症 ～ノロウイルス～

ノロウイルスは11月から翌年3月までの冬季を中心に流行する感染性胃腸炎の一種です。急な嘔吐・下痢・腹痛などが主な症状ですが、免疫力の低下した高齢の方が感染すると重症化しやすいため注意が必要です。感染力が非常に強いため、集団生活の場ではひとたび発症者が出ると瞬く間に感染が広まります。治療薬が無く、症状が治まってもしばらく腸内からウイルスが排出され感染を引き起す可能性があるため、非常に厄介なウイルスです。施設の場合、二次感染を防ぐためにも、特に迅速かつ適切な処理が必要であり、毎年吐物の処理方法について実技訓練など勉強会を行って備えています。ノロウイルスはアルコールに対して抵抗力を持っているため、消毒には次亜塩素酸を適切な濃度に希釈して使用します。ウイルスは嘔吐物・排泄物だけでなく、手を介して感染する可能性があるため、発症した場合は施設内の手すりやドアノブ、蛇口や電気のスイッチなど手の触れる全てのものを消毒します。このように集団生活の施設で発症するととても大変なノロウイルス。はやく良い薬が出来て欲しいものです。

ゆうむ 感染管理委員会

